

総務文教消防委員会会議録（令和6年8月9日）

出席委員 大浦委員長 水橋副委員長 吉森委員 高川委員 青山委員 岩城委員 古沢委員

欠席委員 なし

説明のため出席した者 水野市長 柿沢副市長 上田教育長 石川総務部長
上田教育委員会事務局長 長崎財政課長 山谷教育総務課長

職務のため出席した事務局職員 石井局長 当銘係長

午前10時11分開会

大浦委員長 ただいまから、令和6年第2回臨時会総務文教消防委員会に付託された案件を審査するため、本日の委員会を開催いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあるとおりです。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

岩城晶巳委員、古沢利之委員にお願いいたします。

日程第2、付託案件の審査に入ります。

議案第50号工事請負契約の締結についてを議題といたします。

議案第50号につきましては、全体委員会で説明を受けているため、当委員会での説明はしないことといたしますが、当局から追加で説明する事項はありますか。

上田教育委員会事務局長 ありません。

大浦委員長 これより、議案第50号について質疑に入ります。

質疑のある委員、追加で説明を求めたい委員は、挙手の上、発言願います。

吉森委員 一応完成が3月25日ということなんですけど、工期、始まるのはいつぐらいなんですか。

山谷教育総務課長 9月末を、今のところ予定しております。

吉森委員 そしたら、運動会後。

山谷教育総務課長 そのとおりです。

吉森委員 その後ということなんですけども、その間って逆に、工事期間中って、生徒たちはどこで体育とかをするんですか、グラウンドを使えないというところと。

山谷教育総務課長 体育の時間は、年間の指導計画のほうを変更しております、室外は内のものに変えております。

吉森委員 分かりました。

あと、その工事期間中の、先生、生徒を含めての安心・安全の部分はちゃんと確保されているのかどうかをお聞かせください。

山谷教育総務課長 その点につきましても、今のところ大丈夫と聞いております。

吉森委員 分かりました。

大浦委員長 ほか、ございますか。

青山委員 大事なことを聞かなきゃいけないんです。砂ぼこり対策ということで、いわゆるグラウンドは今新たに、大分前の話だと、中のどこまで直していいかというところまで最初悩んでいるところをお聞かせいただいたところで、多分我々の情報はそこでストップしているんだろうと思っているので、詳細とその後の砂ぼこりの対策、2点お願いします。

山谷教育総務課長 今のところ、工事としましては、暗渠排水等がよくないということで、暗渠排水、それに伴う表面の工事というふうになっております。

今青山委員のほうから言われました砂ぼこりの対策につきましては、今のところ富山市側、魚津市側、海側の3方向、300メートル程度を、砂防ネット、目の細かいネットです、を高さ2メートルの物をずっと引きまして、砂ぼこりが近隣のほうに飛ばないようにしております。

それと同時に、散水栓を6か所設けまして、スプリンクラー等を設置して、砂、暑さ対策も含めながら、水をまけるように今準備をしているところでございます。

青山委員 そうすると、今の砂防ネットは、要は、切れ目なく、ほぼ周りじゅうにということですね。

山谷教育総務課長 校舎側を除きまして、そのほかの面につきましては、砂防ネットを取り付けるといったところでございます。

青山委員 そうしましたら、その辺は分かりました。砂の関係はこれで大丈夫なんだろうなと思うんですけども、排水に関しては、暗渠がどれだけ傷んでいるとかというのは、もう検査済みというか、把握済みでしょうか。

山谷教育総務課長 現在のところ、滑川中学校のグラウンドにつきましては、ほとんどが表面排水という状態になっております。そのため表層等も削れ、下の碎石の部

分が見え始めている状態ですので、暗渠排水をもう一度やり直すというところでございます。

青山委員 要は、機能がもうなくなっているということは、ほとんど駄目なんだろうということで、全部やり直すということだと思っています。

じゃ、もう一つ、契約方法の条件付一般競争入札になった理由とその条件は何だったのか、お願いします。

上田教育委員会事務局長 工事の金額等によって入札方法が変わってくるものというふうに思っておりまして、今回の金額では、工事につきましては1億5,000万を超える予定価格があるということでございましたので、そちらのほう、財政課のほうで条件付の一般競争入札という手法で進めるというふうになっておると思っております。

青山委員 おっしゃるとおりなんですけど、その条件は一体何だったのかという……。

条件付一般入札なわけですから、その条件が付されて、条件付一般入札……。

もう答えられないですか。駄目ですか。

大浦委員長 これ、私も出席、当局側のを見たときに、これ、財政課がいなくて大丈夫なのかなというのは思ったところなんですけど、これ、多分、条件付は多分、議員から質問……

水野市長 途中から呼んでもいいんですか。

大浦委員長 あ、お願いします。もしよければ。

水野市長 はい。

大浦委員長 青山委員、それでよろしいですか。

青山委員 はい、大丈夫です。

上田教育委員会事務局長 申し訳ありません。

吉森委員 じゃ、待ち。

水野市長 ええ。財政課長、呼んで。

吉森委員 じゃ、その間、いいですか。駄目ですか。

大浦委員長 いや、いえ、そのまま行きます。

吉森委員 そのネットというのは工事期間中だけの話ですか。ずっと。

山谷教育総務課長 ずっとになります。この後、ずっと取り付ける。

吉森委員 スプリンクラーもということですか。

山谷教育総務課長 スプリンクラーもそうです。

吉森委員 分かりました。大丈夫です。

青山委員 ちょっと今の話でもそうですが、ネットのほうが先に傷んでくるような気がしますけど、耐用年数とかって、どんなものなんですか。

上田教育委員会事務局長 耐用年数まで今お示しすることはできませんけれども、状況を見ながら、議員がご心配されておるとおり、一年中外に出ておる物ではございますので、そこらは経過を注視しながら、老朽化といいますか、傷んだ場合には、また取り替えるなどの対応をしていきたいというふうに思います。

青山委員 それはつけた後なんですけど、悪くなるわけじゃないので、また状況を見てもらいながらだと思っております。

あと、ちょっともう一つお聞きしたかったのは……。

(石川総務部長、長崎財政課長が入室)

青山委員 すみません、委員長、このまま行かせてもらって。

大浦委員長 はい。

青山委員 表土の締め固めとかって、どういような締め方になるんですかね。何かグラウンドなので硬過ぎてもいけないような気がしますし、軟らか過ぎてもそれこそ表土が飛んでいってと思うんですけど、どんな感じかとかって。

水野市長 やっぱある程度攪拌しなきゃいけないので、その辺の機械も入れながらとは思っております。あとは、ローラーでやっぱある程度転圧はしなきゃいけない。でも、転圧し過ぎてまた暗渠を潰しても駄目なので、その辺の兼ね合いはなかなか難しいですけど、それは古柵建設からまたその下請に行くのか分からないんですけども、専門業者が入ってその辺りの転圧はしっかりやってくれるものと私は理解をしております。

青山委員 古柵さんって、過去、グラウンドの改修……

水野市長 やっていないと思います。その辺は条件がどうなのか、また聞いてもらえると。

大浦委員長 ほかに。

岩城委員 砂防ネット、2メートルと言われるけども、2メートルで大丈夫なんかなという感じがする。要は、窓枠のどこかそこら辺りの高さやと思うがやけど、これでできるのかなという感じは、直感的に思うんです。大丈夫ということを知

ておられるんですか。

山谷教育総務課長 高さについては、ネットの支柱等の強度もあります。かなり細かいネットをつけることになりますので、そういった強度等も考えながら、今のところ精いっぱいの高さで取り付けたいと考えております。

そのほかにも、散水栓等をつけながら、水をまきながら、なるべく飛ばないようにしたいと考えております。

大浦委員長 よろしいですか。

岩城委員 散水栓は、風が吹いたなと思ったら、土日あたりでも来て、ひねるがけ。大丈夫なんかな。土日はほっばらかしになってしまうんじゃないかな。

山谷教育総務課長 そういったところにつきましては、まず学校側と調整を図りながら、土日、こちらのほうも、なるべく気をつけながら水をまいていきたいと思っております。

岩城委員 新しいことをやるがに、えらくみんなに負担がかかってしまうんだけど、なるべく砂の被害が少なくなるようにお願いいたします。

大浦委員長 私からも、いいですか。

今、ネットに関しては、近隣住民の皆さん方への配慮の点で設置されるのかなと思うんです。各小学校と中学校で、そういうグラウンドの劣化の部分って違うと思うんですけど、理由の一つは、やっぱり子どもたちのその運動能力、あとは部活なんかのスパイクの使用でこの劣化のスピードって変わっていくと思うんです。でも、恐らく、部活動の内容自体が今後変わっていく可能性もあるので分からないんですけど、同じようなことをやっていけば、これだけの予算がまたいずれついてくる可能性があるんです。

なので、先ほど、砂防ネットには耐用年数、今分かりませんと言われたんですけども、グラウンド状態、今整備することによって何年劣化しない状態で使用できるかは把握しておかないと今後の財政的な負担にもなりかねないので、その辺は把握はしなきゃいけないと思うんですけども。

あと、その使用方法ですね。やっぱりふだんの部活動なんかで、体育なんかは運動靴でやるのでそれほどだと思ってしまうんですけども、部活動に関しては、恐らくスパイクの使用で、当然小学生より中学生の運動能力は高いわけですから、いくらやっても削れるものは削れるんですよ。

その辺に関しては、今の使用方法と同じもので考えていらっしゃるかお聞かせ願いたいんですけど。

山谷教育総務課長 劣化の状態に関しましては、毎年、各学校さんのほうの施設設備等のところで、緊急を要するもの、いずれ経費をつけていただきたいものというふうにして聞いておりますので、そういったものも含めながら、学校訪問しておりますので、そういったところで必ず点検をしながら、劣化しないように工夫をしていきたいと考えております。

また、部活動のそういったものにつきましても、確かに頻度というのが高くて、小学校に比べると劣化等もしやすいんですが、ただ今回、そういった土等につきましては、子どもたちの安全を最優先しまして、最初、飛ばない土等も考えてはいたんですが、そうなりますと、けが等の心配、目が荒くなったりという心配もございまして、今回の真砂土と山砂、そして添加剤を混ぜたもので対応するということになりましたので、部活動での頻度につきましても、学校の先生方と連携を図りながら、意見を聞きながらやっていきたいと思っております。

大浦委員長 分かりました。

それでは、青山委員、もう一度よろしいですか。

青山委員 はい。

戻りまして、じゃ契約の方法ということで、条件付一般競争入札の「条件付」の内容をお願いしたいなと思うんですけど、お願いします。

長崎財政課長 条件ですけれども、まず市内に営業所がある事業者。あと、業種ですね、入札参加資格の業種が土木一式工事。それと、ちょっと長いですが、経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書の総合評定値ですね、各事業所の点数がついてるかと思うんですけども、こちらが850点以上の事業者という条件などとしております。

青山委員 そうしましたら、その条件をつけた理由をお願いします。

長崎財政課長 今回の工事につきましては、予定の価格、公表価格ですね、1億5,420万円、税抜でございます。こちらが設計額となっております。

こちらのほうですけれども、市のほうで工事の入札参加の選定要領というものがございまして、工事費の金額によりまして、Aクラス、Bクラスというのを定めております。

今回はそちらの中で5,000万円以上の工事、1億5,000万ほどになりますので、ということで、クラスとすればA級に当たる業者が選定基準となっておりまして、市内の業者の格付表ということで、A級ということは、市の格付表は850点以上ということでございますので、この基準に基づいた選定という金額となっております。

青山委員 そうしますと、このA級は、市内業者は何社あるんでしょうか、対象。

長崎財政課長 今、格付表に載っている業者とすれば、4社でございます。

青山委員 何か確かめるように言っていますけど、4社ということで。

そのうち、じゃ今のこの入札というのは何社だったんでしょうか。

石川総務部長 事前の入札の申込み、応札予定者は3社だったんですが、実際の入札にかかったのは2社でございます。

青山委員 先ほど市長が言われるとおり、初めて古栃さんがこのグラウンド整備に関する内容で取られたというふうな認識で今お話しいただいたんですけども、もちろん我々議会でも、愛市購買だということで、地元業者ということで今まで要望もさせていただいて、それには異論はもちろんないんですけども、いわゆる積算の根拠だったりだとか、そういったものに関しては、やっぱり本当は広くその数字を集めなきゃいけないと思っております、その辺についてはどのようにされたのかお願いします。そもそもの積み上げの金額と向こうが出してきた金額に対しては、どのように思われたのか。

水野市長 積算については、うちの建設課の土木技師がやっていますので、それは全国一律の単価表を使いながら、歩掛もそれを使いながらの積算なので。同じグラウンド改修工事に関しては、全国一律の標準単価を使って、諸経費に関しても同じような形で積算をしていると思いますので、その辺りは大丈夫だと思っております。

青山委員 そうしましたら、どういうことかという、やっぱり今後、ある種だんだん土木屋さんが、Aクラスが減ってくるだろう、分かんないですよ、頑張ってくればまた違いますけど、恐らくこの人口動態からは、だんだん、だんだん減っていくと。

地方の土木業者がだんだん減っていく中で、そうなってくると、もちろん競争力が働かないというのが、ある一方では愛市購買で土木業者は市内を使いたいですけれども、ある一方ではやっぱり税金の無駄をできるだけしたくないし、市の、いわゆる財政も傷めたくないということで、なかなか、背反というんですかね、している

状況になっていきますので、その辺はしっかり見ていただいて、また今後も進めていただければと思っています。

水野市長 ありがとうございます。

大浦委員長 ほか、ございますか。

すみません、今後のためになんですけど、今Aクラス4社と言われたんですけど、それ、企業名は言えるんでしょうか。

すみません、私の勉強不足で。私、もっと少ないとちょっと認識していたもので。

長崎財政課長 令和5年・6年度で、これ、入札の資格は2年おきに入れ替わりというか、申込みをしていますので、令和5年度の市内の格付表でAランクに今現在挙がっているところですけども、株式会社古栃建設、加積建設株式会社、八倉巻建設、株式会社金山産業、以上4社でございます。

大浦委員長 分かりました。

そのほか、ございますか。

(質疑する者なし)

大浦委員長 それでは、質疑を終結いたします。

これより、議案第50号について討論を行います。

討論を希望される委員は、挙手の上、発言願います。

(討論する者なし)

大浦委員長 ないようでしたら、これにて討論を終結いたします。

それでは、これより議案第50号について、挙手により採決を行います。

議案第50号工事請負契約の締結について、賛成委員の挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

大浦委員長 賛成全員。よって、付託案件、議案第50号につきましては、原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

午前10時33分議決

大浦委員長 以上で付託案件の審査は終わりました。

委員の方に申し上げます。

本来であればその他事項ということですが、今回は臨時会ということで、委員からのその他につきましては、次回の委員会協議会等にてお願いしたいと思い

ます。

それでは、これにて令和 6 年第 2 回臨時会総務文教消防委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前10時33分閉会